

小倉北区

●日明市民センター

●富野市民センター

市民センターにおける生涯学習事業

区	小倉北区	センター名	日明市民センター
---	------	-------	----------

事業・活動名

わくわくキッズマルシェ ～世代をつなぎ未来を育むプロジェクト～

事業・活動の背景とねらい・目的

地域コミュニティの希薄化が進み、子どもの活動も低迷し、異世代間での生活体験や交流が減少している。その結果、若者や子どもたちが地域の歴史や文化、価値観を学びにくくなっているのが現実である。地域コミュニティの活性化と未来の地域づくりの担い手である子どもたちの健全な育成に向けて、地域全体で取り組む必要がある。この課題を解決する糸口として、子どもたちの学びの機会増加促進と異世代間交流による子どもたちの健全育成、地域社会への貢献意識醸成を図るために、未来の種事業に着手した。

取組内容

地域行事の際に「わくわくキッズマルシェ」開業の体験活動を行う。その後、学びと体験を循環させた全 10 回の講座を開催。

- ◆「わくわくキッズマルシェ」（開店準備、商品搬入、当日の販売）
- ◆「子ども経済講座～マルシェのしくみを学ぶ～」
（地域の様々な職業の方を講師に、経済、物流、サービスについて学ぶ）
- ◆「ひあかり子ども朝市」（レシピ考案、試作、商品搬入、陳列、当日の販売）
（地域の大人から学び、交流しながら、子どもたちが自主的な運営に取り組む）
- ◆「活動の振り返り」（事業に関わった人たちと振り返る）

成果・効果

- ・事前学習、当日の準備から運営、片付けまで、子どもたちが真剣に取り組む姿を地域の大人は見守り、回を重ねるごとに地域の大人と子どもの距離が近くなった。子ども～親～その上の世代と多世代がつながってきた。
- ・学校、PTAの協力で多くの保護者・先生方が参加いただき、地域と学校との新たな交流を深めることもできた。また、講師を依頼した地域の方々も大変協力的で、子育て支援のネットワークがより一層広がった。
- ・地域社会への貢献意識、自主性、協調性の向上、地域を愛する気持ちにもつながった。
- ・地域の方々の職業に触れ、子どもたちの将来の可能性を広げることができた。

今後の取組

このような活動を継続しながら地域協力の強化を図り、自主的運営への移行を目指す。

他地域展開を見据えた視点・ポイント

- ・実体験を通した子どもたちの自主的な活動。
- ・学び場と人的支援（地域の大人たちから学ぶ）の仕組み。
- ・地域と学校・PTAの連携。

活動の様子

事業に関わったメンバー



市民センター



まちづくり
協議会



P T A



保護者



学校



生涯学習推進
コーディネーター



地域の達人

わくわくキッズマルシェ

開店準備



ポップ書き

開店準備



ヘアゴムづくり

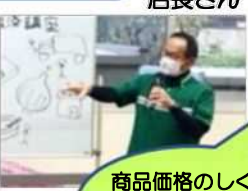
いよいよマルシェ開店♪

マルシェのしくみを学ぶ



未来の種事業
こども
経済講座

コンビニ
店長さん



商品価格のしくみ
経済・物流・サービス
について学ぼう

マルシェ商品探求



北九州卸売市場
青果担当さん

メニュー考案



仕分け体験



ひあかりこども朝市

商品陳列



キャベツをカット

販売



3つで
300円です

来場者 約300人!



お金の計算もするよ!

**未来の種事業
振り返り**

大人の人ってたいへんだ!一日中立て仕事をするは大変だと感じました。私は、もう足が痛いです。

【小学生】



数年後に子どもが小学校に入學します。入學に対して不安もありましたが、P T A・地域の方々の姿を朝市で拝見し、この地域なら安心して子どもを学校へ送り出せる。

【保護者】



私たちは「挨拶は心と心をつなぐ合言葉」が目標です。この朝市で地域の方と子ども達が顔見知りとなることが一番の防犯に繋がるのだと思います。

【校長先生】



地域・人づくりアドバイザー、地域・人づくり担当補佐の関わり

事業の決定・企画・実施・振り返りの各段階で必要な助言を行った。

作成者

小倉北区役所コミュニティ支援課
〃

地域・人づくりアドバイザー
地域・人づくり担当補佐

片岡 美千代
三浦 奈緒

市民センターにおける生涯学習事業

区	小倉北区	センター名	富野市民センター
---	------	-------	----------

事業・活動名

とみのカレッジ④ 彩 ～世代を越えた“美”コミュニケーション～

事業・活動の背景とねらい・目的

富野校区には福岡美容専門学校があり、1・2年生で約320名の若者が通っている。しかし、学生と地域住民が触れ合う場、機会もない。地域貢献し、住民との交流を深めたい学校側と、高齢化に伴い引きこもりがちになる住民に学びやコミュニケーションの場を提供することで、生き生きと心豊かに暮らせるまちづくりを進めたい地域。両者のニーズを引き合わせ、人生を豊かに安心して暮らせる地域社会実現のために、「美容」を通し世代を超えた、経験・知識の相互交流で地域の活性化を図る。

取組内容

美容専門学校教員を講師に迎え、全2回の講座を実施

- ① ネイルケア講座（爪のケアを学びながら、マッサージで参加者同士の交流も深める）
 - ② スキンケア講座（正しい肌知識とスキンケア法で見せたい肌への美意識を高める）
- 学生との交流の前段階として、今年度は教員による講座で美容や学校への興味・理解を促した。館報やチラシのほか、地域の福祉施設等にも参加を呼び掛け、幅広く広報を行った。

成果・効果

様々な年齢層の受講生が集まり、今まで市民センターを利用したことがなかった人たちも取り込むことができた。実技を通して参加者同士和気あいあいと交流する姿がみられ、アンケートには高い満足度と次も福美の講座を望む声が多くあった。2回限りの講座で終わらせず、継続的な学びと交流を望む気持ちを引き出させたこと、学校側と何度も話し合いを重ね、次年度以降の取組みに繋げる協力体制を築けたことも大きな成果である。

今後の取組

学校と協議し、令和7年度は下記の取組を実施予定

- ① 市民センターから福美へ「お出掛け講座」（学校見学や学生によるシャンプー実演等、学生との交流を含めた内容を予定）
 - ② 市民センター×福美「文化祭交流」（市民センター文化祭に学生が出演・出展、地域住民へ福美文化祭への参加を呼び掛け、双方で文化交流する）
- その他、乳幼児の保護者を対象とした癒しの美容体験（子育てサポーターに協力依頼）や、学校と福祉施設を繋げたことで、福祉美容を通じた交流に向けても動きだしている。

他地域展開を見据えた視点・ポイント

地域にある学校や施設を地域の資源と捉え、いかにして地域に活かすか、常日頃からも模索していた。館長、職員でその思いを共有していたことから、職員研修で男性職員2名が学校と繋がるために「美容」講座を企画。すぐ行動に移したことで、講座実施に至った。

第1回ネイル講座

- ・ネイル学
- ・ネイル各名称
- ・カウンセリング
- ・爪の形
- ・爪の強度
- ・マッサージの方法
- ・ツボについて



第2回スキンケア講座



- ・顔を学ぶ
- ・スキンケアの基本
- ・うなはだけつ
うるおい
なめらか
ハリ
弾力
血色
ツヤ
- ・アンチエイジングと
エイジングケア
- ・効果的なこととは？

地域・人づくりアドバイザー、地域・人づくり担当補佐の関わり

小倉北区市民センター職員を対象に「講座企画研修」を実施。地域課題から講座を組み立てるポイントを教授した後、グループワークで企画書を作成・発表。地域課題を捉え、地域資源（教育機関）を上手く活かした企画に対し、実現に向けた奨励とアドバイスを行った。

作成者

小倉北区役所コミュニティ支援課
〃

地域・人づくりアドバイザー
地域・人づくり担当補佐

片岡 美千代
三浦 奈緒